

SC販売統計調査報告 2011年5月

5月既存SC前年比 ： -1.4 %

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

※5月のSC総売上高(推計)は、東日本大震災の影響により、休業や営業時間の短縮など販売状況を正確に把握できないSCがあることから、発表を控えさせていただきます。

■概況

2011年5月の既存SCの前年同月比は-1.4%で3ヶ月連続で前年を下回った。

先月は震災直後(3月-12.2%)の反動で大幅に改善したが、今月は大きな変動は見られなかった。大型連休にあわせたバーゲンでは売上を伸ばしたものの、天候不順や平年より早い梅雨入りにより夏物衣料が振るわなかったことや、依然として高額品の動きが鈍いことも影響し、前年クリアには至らなかった。

立地別でみると、郊外地域は全体で-0.9%、テナントは-0.6%と改善している。

地域別では、東北地域が6.2%と健闘している。これは震災後SCが営業再開し、復興需要により消費が改善したことが主因である。また、被災地域によっては周辺の商業施設が震災により営業ができないため、買物客が集中しているとの報告もあった。

北海道は全体で2.8%、特に中心地域は3.5%と好調であった。これは、札幌駅と大通公園を結ぶ札幌駅前通地下歩行空間の開通により通行量が増えた波及効果によるものと思われる。また、外国人旅行客も徐々に戻りつつあるとの報告もみられた。一方近畿は全体で-3.4%、中心は-6.2%と前月に比べ後退している。これは、梅田、阿倍野・天王寺の大型商業施設の開業により近隣の既存SCが振るわなかったことなどがあげられる。

政令指定都市別で見ると、京都市が全体で-6.8%、特にテナントは-10.6%と厳しい結果になった。これは外国人を中心に観光客数の減少が要因にあげられる。東京区部も-4.9%と、前月に引き続き震災による来街者数減少の影響が大きかった。

※本調査は、2009年12月末現在の全SC3,013SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※集計SC 524SC 回収率 52.4%

※「立地別・地域別 総売上高」「立地別SC・キーテナント・テナント効率」につきましても、東日本大震災の影響により、販売状況を正確に把握できないことから、発表を控えさせていただきます。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立 地		SC数	総 合	テナント	キ ー テナント
総 合		524	-1.4	-1.6	-1.0
中心 地域	大都市	69	-2.4	-2.5	3.8
	中都市	77	-0.8	-2.2	2.5
	小都市	30	-2.2	-2.5	-1.8
	小 計	176	-1.8	-2.4	1.7
周 辺 地 域		127	-2.2	-2.0	-2.5
郊 外 地 域		221	-0.9	-0.6	-1.4

(注) ■ 都市規模

大 都 市 : 政令指定都市(札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜
・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市)

中 都 市 : 上記都市を除く人口15万人以上の都市

小 都 市 : 人口15万人未満の都市

■ 立 地 (市・町・村の行政区画単位で区分)

中心(商業)地域 : 当該市・町・村の商業機能が集積した中心市街地

周辺(商業)地域 : 中心地域に隣接した商業・行政・ビジネス等の都市機能が適度に存在する地域

郊外地域 : 都市郊外で住宅地・農地等が展開されている地域

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

地域 立地(SC数)		総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州 ・沖縄
総 合	524	-1.4	2.8	6.2	-1.7	0.3	-2.6	-3.4	-3.0	-0.3	-1.4
中心地域	176	-1.8	3.5	5.2	-0.9	-1.7	-5.8	-6.2	-3.6	2.2	-3.3
周辺地域	127	-2.2	1.4	11.7	-2.7	-4.4	-0.7	-4.1	-2.2	-2.5	1.0
郊外地域	221	-0.9	2.7	5.8	-1.9	1.7	-2.5	-1.8	-2.8	-1.6	-1.4
(SC数)		524	15	27	185	52	42	119	28	13	43

(注) ■ 地 域

北 海 道 : 北海道

東 北 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関 東 : 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北 陸 : 新潟県・富山県・石川県・福井県

中 部 : 長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近 畿 : 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中 国 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四 国 : 徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別
売上高伸長率

都 市		SC数	総 合	テナント	キーテナント
総 合		524	-1.4	-1.6	-1.0
政 令 指 定 都 市	札 幌 市	10	3.4	3.4	-
	仙 台 市	2	14.0	14.0	-
	千 葉 市	5	-1.2	-1.2	
	東 京 区 部	51	-4.9	-5.4	-3.3
	横 浜 市	18	2.8	3.2	1.2
	川 崎 市	4	-1.9	-2.0	-1.4
	名 古 屋 市	11	0.8	0.5	2.1
	京 都 市	11	-6.8	-10.6	-2.3
	大 阪 市	27	-6.3	-6.6	-3.3
	神 戸 市	18	-1.5	-0.9	-2.6
	広 島 市	7	-0.9	-1.1	0.3
	北 九 州 市	2	-3.7	-4.6	0.6
	福 岡 市	9	-3.9	-3.9	-4.4
	小 計		175	-2.5	-2.7
そ の 他 の 地 域	北 海 道	5	-5.8	-10.5	-0.8
	東 北	25	4.8	5.5	3.0
	関 東	107	-0.7	-1.5	1.1
	中 部	41	0.1	1.7	-2.2
	北 陸	42	-2.6	-2.5	-2.8
	近 畿	63	-1.8	-1.0	-2.4
	中 国	21	-3.6	-5.5	-0.6
	四 国	13	-0.3	-4.3	3.1
	九 州・沖 縄	32	-0.3	1.2	-3.1
	小 計		349	-0.7	-0.7

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、
堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が政令指定都市と
なったが、さいたま市、相模原市は関東地域、
静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、
堺市は近畿地域、岡山市は中国地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別
売上高伸長率

キー業態		SC数	%
総 合		524	-1.4
核なし		248	-2.4
1 核	Dpt	17	-0.7
	GMS	134	-0.3
	SM	49	-4.1
	SS	3	-4.4
	HC	2	-1.2
	DS	3	0.3
	専門店	5	-7.5
	生協	5	-3.2
	農協	1	-3.9
	Dgs	-	-
	小 計	219	-1.0
2 核	Dpt+GMS	4	2.3
	Dpt+SM	2	5.6
	Dpt+SS	-	-
	Dpt+HC	-	-
	GMS+SM	2	-2.1
	GMS+SS	-	-
	GMS+HC	5	-0.9
	GMS+専門店	6	-2.8
	SM+SS	5	-1.9
	SM+HC	4	-2.1
	SM+DS	5	-4.1
	SM+専門店	5	2.0
	DS+専門店	-	-
	生協+HC	1	-3.2
	その他	5	-3.4
	小 計	44	0.1
3 核	Dpt+GMS+SS	-	-
	Dpt+GMS+HC	2	-1.1
	GMS+SS+HC	-	-
	GMS+DS+HC	-	-
	SM+SS+HC	-	-
	その他	10	-1.1
小 計	12	-1.1	
4 核	その他	1	1.5
小 計	1	1.5	

表-5 既存SC売上高伸長率推移

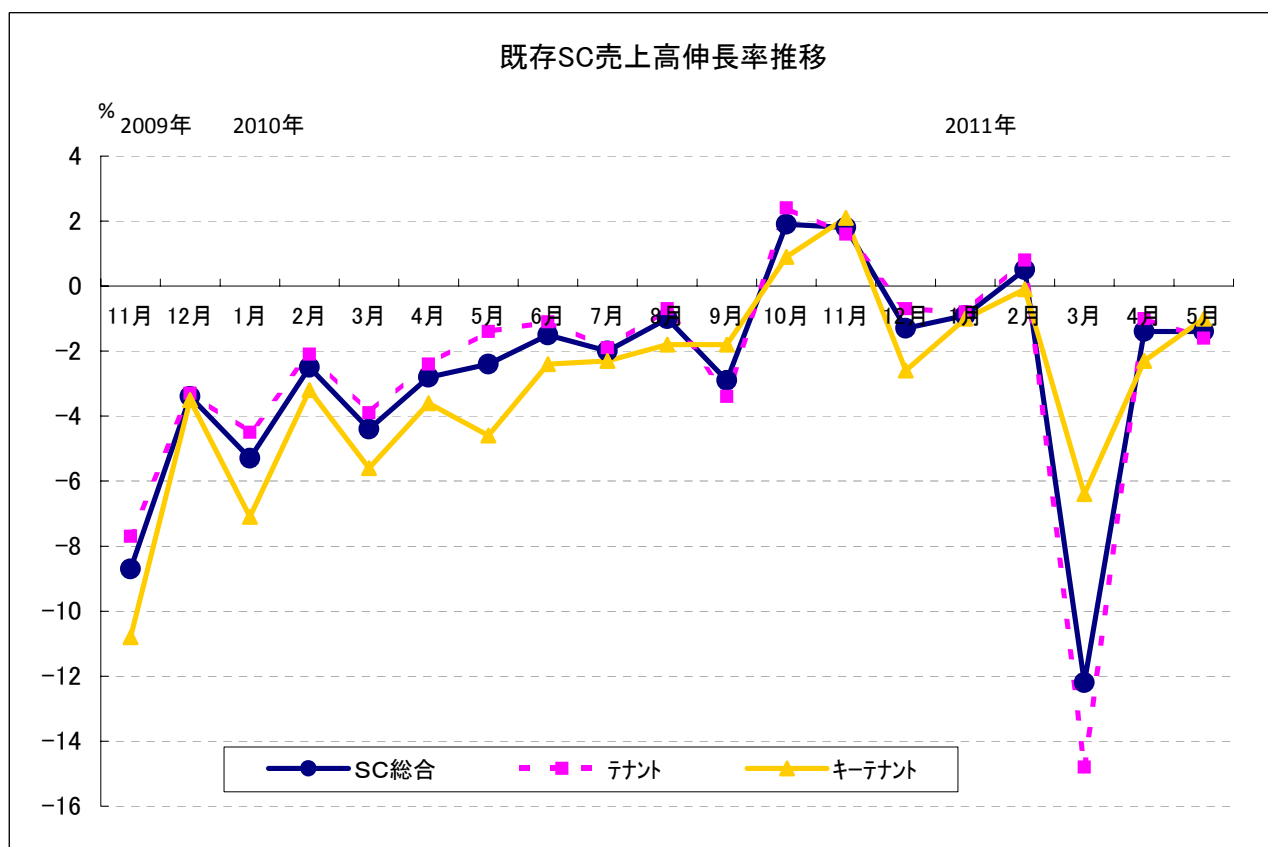
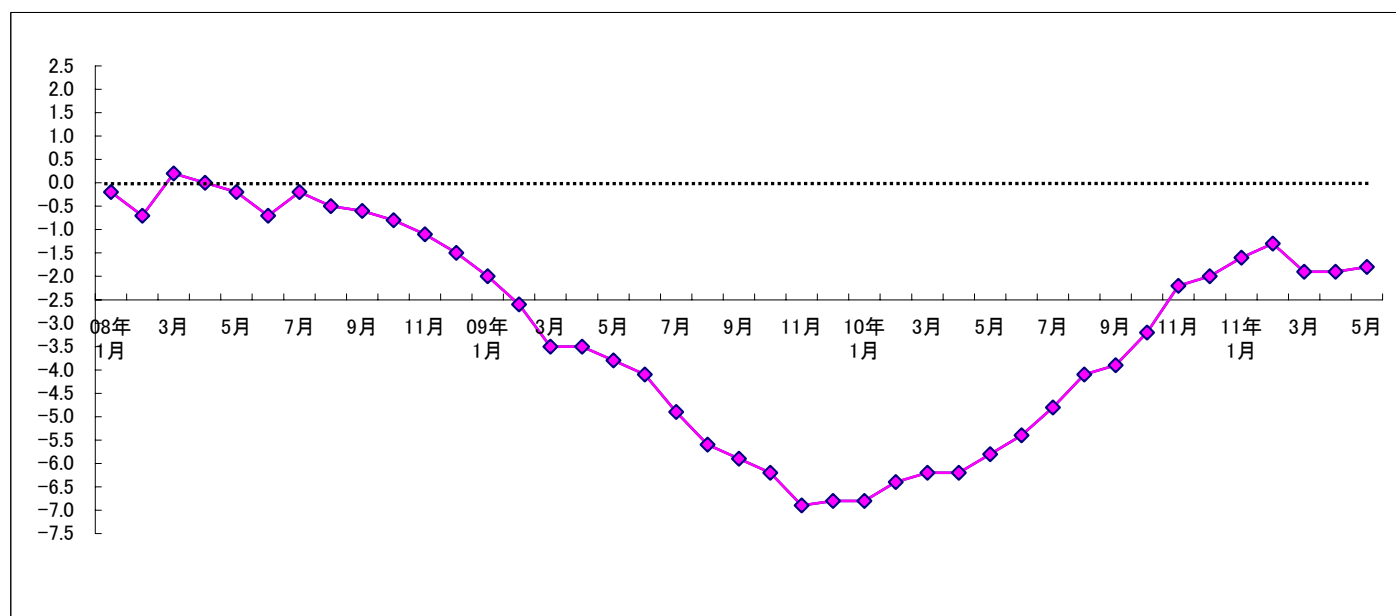


表-6 既存SC移動平均(年間)

	2011	2010	2009	2008	2007	2006
1月	-1.6	-6.8	-2.0	-0.2	0.9	0.2
2月	-1.3	-6.4	-2.6	-0.7	1.0	0.6
3月	-1.9	-6.2	-3.5	0.2	0.6	1.0
4月	-1.9	-6.2	-3.5	0.0	0.5	1.1
5月	-1.8	-5.8	-3.8	-0.2	0.4	1.2
6月		-5.4	-4.1	-0.7	0.5	1.2
7月		-4.8	-4.9	0.0	0.0	1.2
8月		-4.1	-5.6	-0.5	0.0	1.2
9月		-3.9	-5.9	-0.6	-0.3	1.2
10月		-3.2	-6.2	-0.8	-0.1	1.1
11月		-2.2	-6.9	-1.1	0.0	0.8
12月		-2.0	-6.8	-1.5	0.0	0.3



(注1) 移動平均(年間): 該当月を含めて過去1年間の平均値を算出したもの。季節変動による特殊要因や曜日・祭日などの影響が取り除かれ、方向感が把握しやすくなる。

* 例えば、2011年5月の移動平均は、2010年6月～2011年5月の累計売上に対する前年比です。

$$\left(\frac{\text{2010年6月～2011年5月}}{\text{2009年6月～2010年5月}} - 1 \right) \times 100 = \text{5月の移動平均伸率(\%)}$$

表-7 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		SC数	S C			百貨店	チェーン ストア
			既 存 S C				
			SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	(185)	-3.4	-3.1	-3.7	-2.2	-5.1
	01年	(255)	-2.2	-1.4	-3.3	-0.4	-5.2
	02年	(328)	-2.1	-2.1	-2.1	-2.3	-2.1
	03年	(462)	-1.6	-0.8	-2.4	-2.8	-3.2
	04年	(522)	-1.7	-0.9	-2.9	-2.8	-3.5
	05年	(550)	0.3	1.5	-1.9	-0.2	-2.6
	06年	(523)	0.3	0.9	-0.7	-0.7	-2.7
	07年	(515)	-0.0	0.3	-0.6	-0.5	-1.4
	08年	(553)	-1.5	-1.1	-2.3	-4.3	-0.7
	09年	(507)	-6.8	-6.5	-7.4	-10.1	-4.3
	10年	(513)	-2.0	-1.7	-2.8	-3.1	-2.6
2010四半期別	(1 ～ 3月)	(551)	-4.2	-3.6	-5.5	-4.9	-4.7
2010四半期別	(4 ～ 6月)	(526)	-2.2	-1.7	-3.4	-4.0	-3.9
2010四半期別	(7 ～ 9月)	(531)	-2.1	-2.1	-2.0	-3.1	-0.9
2010四半期別	(10 ～12月)	(535)	0.7	1.0	0.0	-0.8	-0.9
2010上半期	(1 ～ 6月)	(488)	-3.3	-2.8	-4.4	-4.4	-4.3
2010下半期	(7 ～ 12月)	(523)	-0.8	-0.7	-1.0	-1.8	-0.9
2010 月別	1月	(557)	-5.3	-4.5	-7.1	-5.7	-4.9
	2月	(541)	-2.5	-2.1	-3.2	-5.4	-2.4
	3月	(546)	-4.4	-3.9	-5.6	-3.5	-6.6
	4月	(517)	-2.8	-2.4	-3.6	-3.7	-4.9
	5月	(539)	-2.4	-1.4	-4.6	-2.1	-5.3
	6月	(540)	-1.5	-1.1	-2.4	-6.0	-1.4
	7月	(537)	-2.0	-1.9	-2.3	-1.4	-1.2
	8月	(538)	-1.0	-0.7	-1.8	-3.2	-1.1
	9月	(537)	-2.9	-3.4	-1.8	-5.2	-0.3
	10月	(533)	1.9	2.4	0.9	0.6	-0.3
	11月	(534)	1.8	1.6	2.1	-0.5	-0.5
	12月	(538)	-1.3	-0.7	-2.6	-1.5	-1.6
2011 月別	1月	(533)	-0.9	-0.8	-1.0	-1.1	-0.1
	2月	(505)	0.5	0.8	-0.1	0.7	0.6
	3月	(531)	-12.2	-14.8	-6.4	-14.7	0.3
	4月	(518)	-1.4	-1.0	-2.3	-1.5	-1.3
	5月	(524)	-1.4	-1.6	-1.0	-2.4	
出典			日本ショッピングセンター協会			百貨店協 会	チェーンストア協会

調査分析

(社)日本ショッピングセンター協会 情報企画部
TEL 03-3536-8121 <http://www.jcsc.or.jp>